

	課題分析	授業改善策
国語	○自分の意見を発表する活動は積極的に取り組む生徒が多い。 ○漢字コンテストや漢字検定に対して、意欲的に取り組む生徒が多い。一方、文法事項の定着と語彙力に課題が残る。 ○根拠を明らかにしてテーマに沿った文章を書く力に課題がある。	○自分の考えを発表する機会を増やし、生徒が自ら学びを深められるようにする。ICTを効果的に活用し、自分の考えを発信したり、他者の考えに触れたりして思考を広げ深めるようにする。 ○文法事項の確認を授業に組み込み、定着を図る。言葉への意識を高められるような発問を行い、語彙力向上につなげる。 ○文章を客観的に捉え、見方・考え方を豊かにするような課題設定をする。
社会	○全体的に基礎的・基本的な知識の習得に課題が見られる。また、その課題解決に向けて行動をする意欲が低い傾向がある。 ○グラフ・写真等の資料を読み取り、思考を深める力に課題があり、苦手意識をもつ生徒が多い。 ○自分の言葉で考えを記述することはできているが、そこに具体性や論理性が伴っていないことが多い。 ○全体的に、学んだ内容と自らの生活や将来を関連付けて考えられない傾向がある。	○単元ごとに小テストを実施する等の工夫をし、細かな振り返りと定着に向けた取組を行っていく。 ○ICTやワークシートで様々な資料を提示し、それらの読み取りや、それらを踏まえた発問を授業の中で取り入れる。 ○授業にニュースを取り入れて、学習した内容が現実社会と関連していることを意識させ、学習意欲を高める。社会の構成員として当事者意識をもたせる。
数学	○基礎的・基本的な「知識・技能」の習得について課題であると感じている生徒が多い。 ○「数学的な見方や考え方」を伸ばす指導の工夫が必要である。 ○自主学習の教材については取り組むことができるが、積極的な反復練習や理解までには至っていない生徒が多い。	○机間指導に加えて、小テストや定期考査を通じて、生徒のつまずきを発見し、助言や指導、授業で扱う問題の検討を行う。 ○習熟度に応じて、発展的内容を取り入れる。1つの課題を深く検討する時間を設けるだけでなく、類題等にも触れる中で思考力・判断力・表現力を伸ばす工夫をする。 ○自主学習にどのように取り組めばよいのかを指導し、適宜振り返りをする機会をつくる。また、反復練習することを促していく。
理科	○多くの生徒が、理科の授業は好きで、授業の内容をほぼ理解している。 ○多くの生徒が、観察実験に真面目に取り組むとともに、実験を行ったことで、基本的な事項が身に付くことにつながっている。 ○普段の生活の中で疑問を解決する意欲が低く、解決するための方法を知らない生徒が多い。	○これまでと同様に、自然科学についての関心意欲を高められるように実験を重視した授業づくりを行う。 ○日常生活の中での疑問を科学的に解決できるような考え方を学習に取り入れる。 ○キャリア教育を推進し、実社会で役立つ理科教育を進める。
音楽	○意欲的に音楽活動に取り組める生徒が多い。歌唱では、協力して練習に取り組むことができる。 ○発声法や、詩の内容および曲想を理解し表現していくことが不十分である。	○発声については、実技練習の中で繰り返し指導することや、グループ学習を通して、良い発声の生徒から学べるようにする。男声の発声では、9月にゲストティーチャーを招聘し学ぶ機会を作る。 ○表現については、楽譜中の記号や詩を読み込み、グループの話し合い活動を表現活動につなげる。
美術	○集中して制作に取り組む生徒が多く、出来栄も良い。ただ、制作が止まってしまう生徒が一部見られる。	○制作過程を示し、毎時間のゴールを設定して取り組ませる。また、制作が止まってしまう生徒には繰り返し声かけを行っていく。
保健体育	○習得した知識を基に、自己の課題を解決するための改善策を具体的に記入することに対して、苦手意識をもっている生徒が多い。 ○教員による一斉指導の機会が多いことで、受け身な生徒が多い。	○授業の中で、習得・活用・探究という学びの過程を通して、解決に向けて試行錯誤を重ねながら思考を深め、よりよく解決するなどの深い学びを促す。 ○生徒相互の学び合いや教え合い活動を積極的に取り入れる。

技術・家庭	○体験的な学習活動に対する興味関心が高く、内容についてもより良いものを目指して取り組もうとする。 ○知識と技能が連動していないことで、「分かる」と「できる」がつながっていない。 ○知識的な内容の定着に差が見られる。	○粘り強く学ぶための動機や内容理解を促すきっかけをつくるため、体験的な学習や動きのある作業を短時間でも設定していく。 ○資料や作業の進め方の例を提示して目標達成までをイメージさせ、知識が技能につながる支援をする。また、繰り返し声をかけるとともに時間設定を工夫する。 ○振り返り活動において様々な情報を得た上で、知識を活用し、まとめられる様式にする等の工夫をする。 ○振り返りシートでの生徒が記述した内容に対して、丁寧にフィードバックを行う。
外国語（英語）	○英語の語順に不慣れであることや語彙力の不足が原因で、ライティングに対する苦手意識をもっている。 ○口頭での英問英答の際、単語を羅列してでも答えようとする意欲はあるが、主語・動詞の形が整った完成文で答えることに困難を感じている生徒が多い。	○日本語と英語の語順の違いを意識させ、簡単な文で自分の意見を伝える演習活動を増やして、書く力の向上を図る。 ○A L Tとの対話テストやスピーチなどのパフォーマンステストを取り入れていく。E S A T-Jを意識して、模擬問答などの対策を行い、文で答える力を伸ばす。